

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

«無断転載禁止»

レジメン番号： GAST-145

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠															
						KEYNOTE-859 Lancet Oncol 2023;24:1181-95															
胃がん (HER2陰性例)	Pembrolizumab+C APOX	21日間	規定なし	■ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 □ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	中																

	薬品名	投与量	投与 経路	投与 時間	Day																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																					
②	キイトルーダ 生理食塩液	200mg 50mL	点滴静注	30分	↓																					
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																					
④	デキサート アロカリス パロノセトロン	6.6mg 235mg 0.75mg/50mL	点滴静注	30分	↓																					
⑤	エルプラット 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓																					
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																					
⑦	カペシタピン	2000mg/m ² /日	内服	1日2回に 分けて 朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	

<注意事項/備考>

- ✓ 過敏症（L-OHP）：7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
- ✓ 末梢神経障害（L-OHP）：急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m²より頻度上昇）
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的にモニタリングを
- ✓ 大腸炎、下痢：持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
- ✓ 甲状腺機能障害：投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を
- ✓
- ✓
- ✓